

## お箸

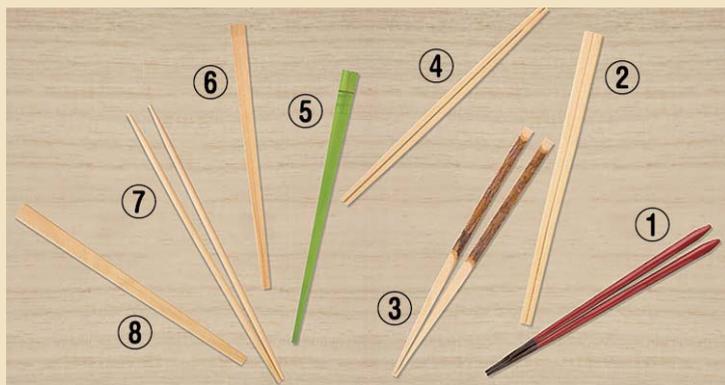
日本人が食事をするうえで欠かせない道具のお箸。お食い初めの時に初めて使って、それから幾度となく食事の時に使います。最近では、SDGsの観点からマイ箸を持ち歩く方も増えているようです。このように日常の食生活で普通に使っているお箸ですが、初節句、七五三、成人式、正月などお祝いの方などでは「祝箸」と呼ばれる特別な箸が使われます。

さて、この「箸（はし）」ですが、なぜ「はし」と呼ばれるようになったのでしょうか。その由来はいろいろとあるようで、どれかが正解というものではなさそうです。

- ・「挟むもの」という意味で、その役割に由来する説
- ・端の方でつまむことから「はし」になった説
- ・「橋」や「柱」などの形状から「はし」になった説
- ・古くは、1本の棒を折り曲げてピンセットのように挟んで使っていたため、鳥の嘴（くちばし・はし）を語源とする説

箸の種類も様々あります。私たちが一般的によく使っているのは「塗り箸」です。木の箸に漆を塗ったものです。あと思いつくのは割り箸ですが、この割り箸には様々な種類があります。時々「元禄（げんろく）箸」と書かれた割り箸を目にしますが、「元禄箸」は割り箸の一種です。それ以外にも、「利久（りきゅう）箸」「天削（てんそげ）箸」「丁六（ちようろく）箸」などがあります。割り箸以外では、お正月などの祝箸として使われる箸を「柳（やなぎ）箸」といいます。この「柳箸」は名前のごとく柳から作られており、折れにくいという特徴があります。

食事をするときに何気なく使っている箸ですが、お店によって形も違いますし、形が違えば名前も違ったりする。そんなことを思いながら箸の違いを見てみるのも食事の楽しみですね。



農林水産省ホームページ

①塗り箸 ②元禄箸 ③黒文字箸 ④利久箸 ⑤青竹箸 ⑥天削箸 ⑦柳箸 ⑧丁六箸

「橋専門店 銀座夏野」<https://www.e-ohashi.com/natsuno/hashish/>  
農林水産省[https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/1605/spe2\\_01.html](https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/1605/spe2_01.html)  
語源由来辞典<https://gogen-yurai.jp>

（文責 医療 藤本浩毅）